

お知らせ

DS 3 CROSSBACK において、1.5 リッターディーゼルエンジンが追加されたため、取扱説明書に以下のように追記させていただきます。

車をご使用いただく前に（2ページ）

●ディーゼル車について

AdBlue® の残量がなくなった場合、エンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに当社指定サービス工場にお申し付けください。

安全なドライブについて（iii ページ）

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

- ・ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を給油してください。
- ・ディーゼル車にガソリンや灯油を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。
- ・ディーゼル車に指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続けることがあります。また、DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の故障につながるおそれがあります。

使用燃料について（第 1 章 1-28 ページ）

ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を使用してください。

注意

ディーゼル車にガソリンや灯油を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

●ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地へ到着するまでに燃料残量を半分以下にし、現地ですできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安
JIS 特 1 号軽油	-
JIS 1 号軽油	-1℃
JIS 2 号軽油	-5℃
JIS 3 号軽油	-12℃
JIS 特 3 号軽油	-19℃

触媒コンバーター（第 1 章 1-30 ページ）

● 触媒コンバーター装着車についてのご注意

ディーゼル車には指定の軽油を使用してください。指定以外の燃料は触媒を傷めます。

フュエルリッド（給油口） （7 ページ、第 2 章 2-21 ページ）

ディーゼル車の燃料タンクの容量は約 41 リットルです。

エンジンの始動 （9 ページ、第 3 章 3-2 ページ、3-3 ページ）

● エンジンの始動／エンジンの緊急始動

ディーゼル車は、ブレーキペダルを踏みながら
ENGINE START/STOP スイッチを押したあと、予熱
表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。



SCR（選択式還元触媒）システム

DS 3 CROSSBACK は SCR（選択式還元触媒）システムと DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）を採用しています。

SCR は、AdBlue[®] を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。



- AdBlue[®] の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue[®] の補充は早めに行ってください。AdBlue[®] の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。
- SCR に異常が発生したまま走行を続けるとエンジンを始動できなくなります。当社指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。

● 走行可能距離の表示

AdBlue[®]の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。走行可能距離が2400km以内の場合、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、警告音とともに警告灯が点灯／点滅し、エンジンを始動できなくなるまでの走行可能距離をお知らせするメッセージを表示します。

警告灯	走行可能距離	対処方法
AdBlue 	800km から 2400km	AdBlue [®] の残量が少なくなっています。 早めに当社指定サービス工場で AdBlue [®] の補充をしてください。
AdBlue  または 	100km から 800km	AdBlue [®] の残量がわずかになっています。 すみやかに当社指定サービス工場で AdBlue [®] の補充をしてください。

警告灯	走行可能距離	対処方法
	100km 以内	AdBlue [®] の残量がわずかになっています。 AdBlue [®] の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。直ちに当社指定サービス工場 で AdBlue [®] の補充をしてください。
	0km	AdBlue [®] の残量がなくなったため、エンジンを始動できません。当社指定サービス工場にご連絡 ください。



走行可能距離が2400km以上の場合は、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動しても走行可能距離は表示されません。走行可能距離は、タッチスクリーンの操作で確認することができます。

●SCRシステムの異常

SCRシステムに異常が発生したら、次のような警告が表示されます。

警告が続けて表示される場合は、直ちに当社指定サービス工場
でシステムの点検を受けてください。

そのまま走行を続けると、約1100km走行したあとは、エンジ
ンを停止すると、再始動できなくなります。

SCRシステムに異常がある場合



SCRシステムに異常が発生した場合は、警告音とともに
AdBlue® 警告灯、自動診断警告灯および **SERVICE** 警告灯が点
灯し、メッセージが表示されます。



一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯
が消灯すれば SCR システムの異常は解消されています。
SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動
する度に警告が表示されます。
当社指定サービス工場ですシステムの点検を受けてください。

SCRシステムの異常により、走行可能距離が1100km以内に なった場合



SCRシステムに異常が発生したあと、異常が解消されないまま
約50km走行すると、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯が点滅、
自動診断警告灯および **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージ
が表示されます。

この警告が表示されると、走行可能距離は約1100km以内です。
そのまま走行を続けると、約1100km走行したあとは、エンジ
ンを停止すると、再始動できなくなります。直ちに当社指定サー
ビス工場ですシステムの点検を受けてください。



SCRシステムの異常が解消されない場合は、走行中は、30
秒ごとにメッセージが表示されます。
また、エンジンを始動する度に警告が表示されます。

SCRシステムの異常によりエンジンを始動できなくなった場合



ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、または ENGINE START/STOP スイッチをスタートポジションにすると、警告音とともに AdBlue[®] 警告灯が点滅、自動診断警告灯および SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

SCRシステムの異常によりエンジンを始動できません。当社指定サービス工場にご連絡ください。

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）は排気ガス中に含まれるススを捕集し、燃焼（再生）処理します。捕集したススが一定量堆積し、警告が表示されると、時速 60km 以上の速度で走行し、堆積したススを燃焼（再生）処理することが必要です。

注意

DPF の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- ススが一定量堆積し、警告が表示されたまま長時間走行しないでください。
- 指定以外の燃料を補給しないでください。
- 指定以外のエンジンオイルを使用しないでください。

● ススの燃焼（再生）処理

DPF にススが一定量堆積すると、**SERVICE** 警告灯が



一時的に点灯し、メッセージが表示されます。

警告が表示されたら、道路状況を見て、すみやかに時速 60km 以上で走行してください。ススの燃焼（再生）処理が行われます。

燃焼（再生）処理が終了すると、警告灯が消灯します。



- ご購入いただいてから最初の燃焼（再生）処理中は、焦げたような臭いがすることがありますが、異常ではありません。
- 長時間の低速走行後やアイドリング運転後の発進や加速時に、排気管から白い煙（水蒸気）が出るがありますが、異常ではありません。

警告灯類／表示灯類（第4章 4-11 ページ）

●黄色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	SERVICE	点灯（サービスインジケータースパナマークが点滅し、その後点灯）	定期点検整備時期を経過しています。	直ちに当社指定サービス工場にて定期点検整備を受けてください。
			AdBlue [®]	<p>点灯（一時的）／メッセージ</p> <p>AdBlue[®]の残量が少なくなっています。走行可能距離は800kmから2400kmです。</p> <p>点灯または点滅／警告音／メッセージ</p> <p>AdBlue[®]の残量がわずかになっています。走行可能距離は100kmから800kmです。</p> <p>点滅／警告音／メッセージ</p> <p>AdBlue[®]の残量がわずかになっています。走行可能距離は100km以内です。</p> <p>AdBlue[®]の残量がなくなりました。エンジンを始動できません。</p>

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
  	SCR システム	点灯／警告音／ メッセージ (SERVICE 警告灯 と自動診断警告灯 も点灯)	SCR システムに異常が発生していま す。	一時的に警告が表示されることがありますが、 その後、警告灯が消灯すれば SCR システムの 異常は解消されています。 SCR システムの異常が解消されない場合は、 エンジンを始動する度に警告が表示されます。 当社指定サービス工場でシステムの点検を受け てください。
		点滅／警告音／ メッセージ (SERVICE 警告灯 と自動診断警告灯 も点灯)	SCR システムに異常が発生していま す。 走行可能距離は 1100km 以内です。	直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検 を受けてください。
		SCR システムの異常によりエンジンを 始動できません。	当社指定サービス工場にご連絡ください。	
	予熱表示灯	点灯 (一時的)	ENGINE START/STOP スイッチを 押ししました。	予熱表示灯が消灯したら、ブレーキペダルを踏 んでいるときにエンジンが始動します。
				予熱表示灯の点灯時間は、気温によって変化し ます。 エンジンがかからないときは、ENGINE START/STOP スイッチをオフにし、再度エン ジン始動の操作を行い、予熱表示灯が消灯する のを待ってください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	燃料残量	点灯／警告音／ メッセージ	燃料の残量が約 6 リットル以下になりました。	<p>燃料が少なくなっています。早めに燃料を補給してください。</p> <p>ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動する度に警告灯は点灯します。</p> <p>燃料タンクの容量は約 41 リットルです。</p> <p>燃料がなくなるまで、走行を続けしないでください。排気ガス浄化システムおよび点火系統が損傷するおそれがあります。</p>

サービスインジケータ（第 4 章 4-24 ページ）

● サービスインジケータ表示一覧

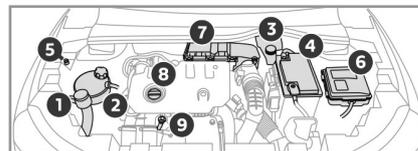
表示	状態	意味
	点滅後に点灯 (SERVICE 警告灯も点灯)	点検時期を経過したことを示しています。 点検時期を経過してからのおよその走行距離や点検時期を経過したことをお知らせするメッセージ（両方またはどちらか一方）が表示されます。

マニュアルチェック (第4章 4-26 ページ、第5章 5-12 ページ)

ディーゼル車は、マニュアルチェックを実行すると、サービスインジケータなどの情報に加え、走行可能距離も表示されます。マニュアルチェックは、次の方法で実行します。

1.  ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **ドライビング機能**にタッチします。
3. **チェック**にタッチします。

エンジンルームの点検 (第6章 6-3 ページ)



- ① : ウィンドウウォッシャー液タンク
- ② : クーラント (冷却水) タンク
- ③ : ブレーキフルードタンク
- ④ : 12V バッテリー
- ⑤ : アースポイント (-)
- ⑥ : ヒューズボックス
- ⑦ : エアフィルター
- ⑧ : エンジンオイル注入口
- ⑨ : エンジンオイルレベルゲージ

⚠ 警告

ディーゼルエンジンは高圧の燃料噴射装置を採用しています。
点検や整備は当社指定サービス工場にお申し付けください。

● 燃料フィルター

交換頻度は、この追補版の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換する燃料フィルターは、当社の純正部品をご使用ください。

● AdBlue[®] の補充

補充頻度は、この追補版の「推奨交換時期」をご覧ください。
ただし、運転の状況により消費の度合いが変わります。また、AdBlue[®] 警告が表示されたら、当社指定サービス工場で補充をしてください。
AdBlue[®] の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。

推奨交換時期（第 6 章 6-15 ページ）

燃料フィルター	4 年または 20,000km ごと
---------	--------------------

● AdBlue[®] の補充頻度について

AdBlue[®] の補充は、1 年または 10,000km ごとに当社指定サービス工場で行ってください。

AdBlue[®]（尿素水）の補充

DS 3 CROSSBACK は AdBlue[®] を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。AdBlue[®] は走行すると消費され、減少します。

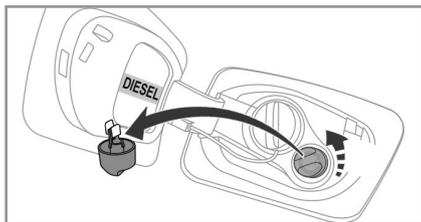
AdBlue[®] の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。



- AdBlue[®] の補充は、当社指定サービス工場での定期点検整備ごとに行われます。
- AdBlue[®] の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue[®] の補充は早めに行ってください。
- AdBlue[®]（アドブルー）はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

●緊急時にお客様がご自分で AdBlue® を補充する

AdBlue® の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなったときは、約 10.0 リットル以上の AdBlue® を補充すると、エンジンを始動できるようになります。



1. 平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
2. エンジンを停止します。
3. 給油フラップを開けます。
4. 青色のキャップをゆるめます。
5. 青色のキャップを取りはずします。
6. 補充が終わったら、青色のキャップを締めて戻します。

注意

ガソリンスタンドなどに設置されている補充装置を使用しないでください。AdBlue® が補充口からあふれるおそれがあります。

⚠ 注意

AdBlue® は、無色、透明、無臭で、身体に触れても無害の尿素水溶液です。

万一目に入ったり、皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。違和感がある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

また、誤って飲み込んでしまったときは、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

注意

●AdBlue® を補充するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷するおそれがあります。

- AdBlue® 以外の尿素水を使用しないでください。
- AdBlue® を水道水などで希釈しないでください。
- AdBlue® を他の薬品と混ぜたりしないでください。
- AdBlue® が車両の塗装面に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

●AdBlue® を保管するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷したり、AdBlue® の成分が変質して刺激臭が発生するおそれがあります。

- AdBlue® を車内に放置しないでください。
- AdBlue® を指定以外の容器で保管しないでください。
- AdBlue® は容器を密閉し、直射日光の当たらない風通しの良い、気温が 25℃ を超えない場所に保管してください。



●AdBlue[®]の残量がなくなった場合は、AdBlue[®]の補充後、以下の操作を行ってください。

1. 5分以上待ちます。その間、以下の操作は行わないでください。

- 解錠する
- 運転席ドアを開ける
- 車内にスマートキーを持ち込む

2. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにして10秒以上待ちます。

3. エンジンを始動します。

●AdBlue[®]の補充後は、エンジンの始動に通常よりも数秒間長くなる場合があります。

●AdBlue[®]はISO規格（ISO 22241-1）に準拠したものを使用してください。

●AdBlue[®]タンクの容量は約15リットルです。

●AdBlue[®]は凍結しても、解凍すればそのまま使用できます。

●使用済みのAdBlue[®]の容器は、地域条例に従って廃棄してください。

燃料切れしたとき

燃料を補給後、次の操作を行い、燃料系統のエア抜きをしてください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションが**P**になっていることを確認します。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにします。
4. 約1分間待って、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
5. エンジンを始動します。



●エア抜きを行う前に、少なくとも5リットル以上の燃料を補給してください。

●エンジンが始動しないときは、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにし、再度エア抜きをしてください。

●エア抜きの操作を繰り返してもエンジンが始動しないときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

